

出展決定 招待アーティスト

あーていすといん れじでんす こうべ あーく Artist in Residence KOBE (AiRK)

2022 年 4 月より、アーティストやクリエイターが集う文化の港として神戸を更に開いていく為、神戸市中央区北野エリアで運営を開始したアーティスト・イン・レジデンス。神戸市内の文化施設や団体と提携し、招聘されたアーティストを滞在施設として受け入れる「Partnership Program in Kobe」と、自主企画として国内外のアーティストを招聘し、神戸市内でワークショップやイベントを開催するなど、地域とアーティストとの交流を促進する「Program by AiRK」のふたつの活動を軸に、さらなる神戸文化の活性化を目指す。

運営メンバー: HAAAYMM (小泉寛明、小泉亜由美、大泉愛子、遠藤豊、松下麻理、森山未来)



Photo: Junpei Iwamoto

いぬいひ さこ 乾 久子

1958 年静岡県生まれ・浜松市在住
東京学芸大学大学院修士課程終了

美術家

イメージからイメージへと広げるドローイングの制作を続けています。
2008 年くじきドローイングワークショップを発案、全国各地で展開中です。ルールはとてもシンプル。くじを引いて出たお題を絵にし、自分も言葉を残すというもの。くじの誘惑に駆られて参加してみれば、引いた言葉がどんなに無茶振りでも、なんとか絵にしてしまう創造力が自分にもあったと気づきます。



会場風景、2018 年
「えらぶん、のこすん、つなげるん」
はじまりの美術館 (猪苗代)
撮影: 白土亮次

えぬえる・ろっこう ぶろじえくと nl/rokko project

2022 年 9 月 神戸市六甲山町にて結成・プロジェクトスタート
(主なメンバー 小泉寛明、ロク・ヤンセン)

nl/rokko project は、ROKKONOMAD を運営するチームメンバーにより結成された「これからの働き方」を探求するリサーチグループです。オランダ王国大使館の協力のもと、オランダと日本をつなぎ、社会問題にチャレンジするプロジェクト「nl/local project - オランダとつくる、私たちの未来-」のメンバーの一つとして活動しています。



Photo: nl/rokko project

出展決定 招待アーティスト

かぎいやすあき
鍵井靖章

1971 年 兵庫県川西市出身・神奈川県鎌倉市在住
1993 年 龍谷大学法学部法律学科卒業

1971 年、兵庫県生まれ。水中写真家。1993 年よりオーストラリア、伊豆、モルディブに拠点を移し、水中撮影に励む。1998 年に帰国。フリーランスフォトグラファーとして独立。自然のリズムに寄り添い、生き物に出来るだけストレスを与えないような撮影スタイルを心がける。多彩な視点と色使いが人気で、大胆かつグラフィカルな水中写真で多くの人々を魅了する。



《shrine of blue》2023 年、
Kawanishi Art Project With 2023、
多田神社(兵庫)

かわはらかつみ
川原克己

1980 年 鹿児島県大崎町出身

お笑いコンビ『天竺鼠』のボケ担当。
芸人として漫才やコントで舞台に立ち、単独ライブのチケットは即完売。
お笑いのエッセンスを混えた独特な油絵を描くことや、
空間そのものをデザインすることも得意とする。
これまでに開催した絵画の個展では総動員数 2 万人を超える。
物語 17 編を描いた絵本「ららら」や「ぬり絵本」なども出版。
アートだけではなく、映像監督(映画・CM・MV 等)など、クリエイターとしての幅広い活動に力を注ぐ。



《チョコビ2LDK》

きやつぶ げいじゅつ けいかくかいぎ
C.A.P.(芸術と計画会議)

1994 年 神戸で結成

杉山知子を含む 11 名のアーティストで 1994 年に発足。1995 年、フランスのアーティスト達からの震災義援金をきっかけに市民参画のプログラムを行った。1999 年には旧神戸移住センターを利用して「CAP HOUSE〜190 日間の芸術的実験」を実施。同建物は 2009 年に市立海外移住と文化の交流センターとなり、C.A.P.は現在指定管理者として活動を続け、また市民の寄付で海外のアートグループとの活動も活発。



《絵を持って彷徨う in 神戸北野》2024 年、
ちよつとそこまで 30th、神戸北野
撮影：川本まい

たかはしせん
高橋 銃

高橋 銃(たかはし・せん)は、1992 年東京都に生まれ、東京藝術大学大学院 美術研究科彫刻専攻修士課程を 2021 年に修了。近現代彫刻の保存修復に携わりながら、自身もアーティストとして作品制作を行う。保存修復の知識や経験を起点とし、彫刻、映像、インスタレーションなど多岐にわたる作品を展開している。主な展覧会に「リニューアルオープン記念特別展 Before/After」広島市現代美術館(2023)「これらの時間についての夢」宇都宮美術館(2022)、「ArtistProject#2.06 高橋銃」埼玉近代美術館(2022)「聞かれなかった声」LEESAYA(2023)など。



《Cast and Rot No.42》2023
Photo by Ichiro Mishima, Courtesy of LEESAYA

チャール・ハルマンダル

1992 年 トルコ出身・東京在住

2016 年 SMFA at Tufts 大学(米国・ボストン)卒業

2023 年 東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修士修了

2023 年 東京藝術大学大学院映像研究科映像メディア学専攻博士課程入学

イスタンブール出身のアーティスト。感情、知覚、想像力、身体性を探求する手描きのノンナラティブ・アニメーションを制作している。最新作の短編アニメーション『Vision』は、世界 40 以上の国際映画祭で上映され、10 の賞を受賞。作品では身体の内側を抽象的にデジタルアニメーションで表現している。現在は抽象的なアニメーションと内的な視覚思考との関係性について実践研究中。



《Vision》(映像スチル)、2023 年

とりびある ゼロ
Trivial Zero

2012 年 結成

フィンランド、トゥルク出身・在住

トリビアル・ゼロはトゥルク(フィンランド)を拠点とするビジュアル・アーティスト、イェンヌ・マイルドとサーミ・ピッカライネンのデュオです。ビデオ、サウンド、彫刻、パフォーマンス、人工知能などを通してアートとサイエンスを融合させ、20 年以上共に活動してきました。私たちの作品は、フィンランド国内だけでなく、国際的に展示されています。

イェンヌ・マイルド

2022 年 トゥルクアカデミーオブファインアーツ卒業 BA

サーミ・ピッカライネン

2021 年 トゥルクアカデミーオブファインアーツ卒業 BA



「※組み立てが必要な場合があります」2019 年、
MUU-Cabel(フィンランド、ヘルシンキ)

やなぎみわ

兵庫県神戸市生まれ、京都府在住

美術作家、演出家。

1993年にエレベーターガールをテーマにした作品で初個展、以後国内外で個展多数。2009年、第53回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本代表作家。2011年より演劇活動を開始し、美術館や劇場で公演、北米ツアーも果たす。

2019年個展「神話機械」が美術館巡回。2021年台湾オペラ「アフロディーテ〜阿婆蘭〜」を作演出。2016年より台湾製の特殊車両による野外巡礼劇を続け、兵庫津では海上公演が実現した。



《Wind swept women》
2009年 第53回ヴェネチア・ビエンナーレ
国際美術展 日本館
撮影：木村三晴

■ 特別展示

六甲山サイレンスリゾート(旧六甲山ホテル)では、同館の修復・リニューアルをディレクションしたミケーレ・デ・ルッキによるアート作品を特別出展します。

Michele De Lucchi(ミケーレ・デ・ルッキ)

建築家、デザイナー、アーティスト。アルキミアとメンフィスの中心メンバーで、1988年から2002年までオリベッティのデザイン・ディレクターを務める。

1987年にコンパッソ・ドーロ賞を受賞。数多い照明の中で、世界的に販売総数第一位とされるアルテミデのランプ「トロメオ」は代表作のひとつ。イタリアやヨーロッパの有名企業の家具デザインを担い、世界各地で建築プロジェクトを実現。現在も文化施設、オフィスビル、工業施設、邸宅など、世界中の建築プロジェクトを手がける。



資料に関するお問い合わせ

六甲山観光株式会社／神戸六甲ミーツ・アート事務局 広報担当（岡本、氏川）

TEL:078-891-0048（平日 9:00～18:00）広報用携帯電話:090-7104-3645 E-mail: press@rokkosan.com